

令和8年度阪神南県民センター主要施策

“住みたい” “働きたい” “訪ねたい”

魅力を磨き、出会いを力に、未来へ進む

阪神南県民センター

令和8年2月

魅力を磨き、出会いを力に、未来へ進み
“住みたい” “働きたい” “訪ねたい”
阪神南地域の実現をめざします

(単位:千円)

阪神南県民センター 施策別の地域躍動推進費予算

I 地域の魅力を活かした交流の促進	48,508
II 賑わいのあるまちづくり	13,944
III ものづくり産業等の振興	18,280
IV 環境と調和した安全・安心なまちづくり	13,218
計	93,950

※ 予算については、今後の県議会の議決をもって成立します。

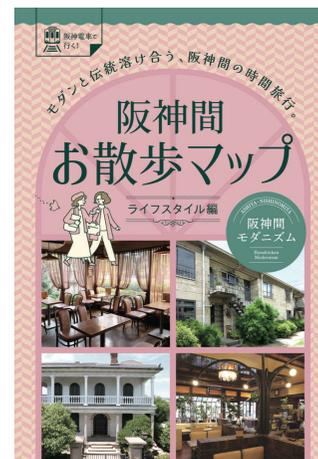
地域ブランド力の向上

管内3市や民間事業者等と連携し、豊富な地域資源を活用することにより周遊と交流を促進する

① 阪神間モダニズムの魅力再発見事業 (1,000千円)

明治末期から昭和初期にかけて阪神地域で花開いた近代的なライフスタイルである「阪神間モダニズム」の魅力を地域内外に向けて広く発信

- ・ 阪神間モダニズムの魅力を訪ねる「お散歩マップ」の作成・配布



モダニズムを紹介するマップ
※令和7年度はライフスタイル編
※Webブックにも掲載

② 「具体」による地域ブランド力向上事業【拡】(834千円)

芦屋で発祥した前衛美術グループ・具体美術協会「具体」の魅力を発信することにより、地域への誘客・周遊を促進

- ・ 「具体」魅力発信アドバイザーの設置
- ・ 「具体」ウェブサイトの充実
- 【例】「具体」関連作品の展示イベントの魅力・注目点の紹介
専門職員がホームページ掲載のモデルコースを巡りレポート



100年続けるアート「平和の証」
瓶投げアート公開制作

③ マリンスポーツを活用した阪神臨海部活性化事業【拡】(3,395千円)【財源:第2世代交付金】

マリンスポーツに適した環境や活動拠点がある阪神臨海部の特性を活かし、官民協働で地域が一体となり、地域の知名度向上・観光資源化を促進

- ・ SUPやウィンドサーフィン、カヌー、ヨット等のマリンスポーツ体験会を開催
【R7:3回 → R8:8回(予定)】



マリンスポーツ体験会(県立海洋体育館)

地域資源を活かした交流の促進(1)

子どもから大人まで誰もが参加・交流できるイベントの開催など魅力的な発信を行い、交流人口の一層の拡大を図る

① 阪神南地域オープンミュージアム無料開放DAY (2,874千円)

阪神南地域に多数集積する個性豊かな美術館、博物館など約20施設を無料開放し、参加者が文化資源を体感する機会を創出

- ・ 開催時期: 令和8年10月の連続する3日間程度



オープンミュージアム無料開放DAYキービジュアル

② 阪神南ふれあいスポーツフェスタ2026 【拡】 (5,145千円) 【財源: 第2世代交付金】

「尼崎の森中央緑地」と「尼崎スポーツの森」で幅広い世代が交流できるスポーツイベントを開催し、健康づくりや世代間の交流、賑わいの創出を促進

- ・ 開催時期: 令和8年10月(予定)
- ・ 実施内容: ワールドマスターズゲームズ2027関西の水球会場としてプレイベント実施【新】
オリンピックによるスポーツ教室、フットサル大会、
子どもラグビー大会 等



子どもラグビー大会

地域資源を活かした交流の促進(2)

「食」に特化したコンテンツ等の地域の魅力を各種広報ツールを活用した情報発信を展開し、地域への更なる誘客促進を図る

③ あにあん倶楽部を活用した情報発信 (1,355千円)

「あにあん倶楽部」のウェブサイトやSNSで、地域のイベント等の若年層向けコンテンツを充実させた情報発信を行うことで、地域への来訪を誘引

- ・管内の観光スポット(フィールドパビリオン等)、周遊コース、イベント情報等発信



あにあん倶楽部「アニワン」

④ 阪神南「食」の魅力発信プロジェクト (4,882千円) 【新】

阪神間モダニズムとともに広まったスイーツ等、旅行者にとって訴求力の高い「食」に特化したコンテンツを、ウェブやSNSで発信し、地域への誘客を促進

- ・スイーツ記事制作 20店舗
- 動画制作 5店舗



イメージ

⑤ 「ちょい飲み手帖阪神特別版」の作成 【拡】 (3,504千円)

酒ツーリズムをはじめとするフィールドパビリオンの紹介とあわせ、管内の居酒屋等において、お酒等と一品料理のセットをお得な価格で楽しめるクーポン冊子を作成

【掲載店舗数】 R7:45店舗 → R8:60店舗(予定)



令和7年度ちょい飲み手帖
阪神特別版表紙

地域資源を活かした交流の促進(3)

「環境」「文化」「スポーツ」「経済」の観点から、サステナブルツーリズムを推進し、地域の魅力発見、来訪者の増加、地域活性化につなげる

⑥ 阪神南地域の魅力発見プロジェクト【新】 【財源：第2世代交付金】

地域の魅力施設の周遊機会の創出や体験型イベントの開催などに取り組みとともに、その基盤となる環境整備を推進

【ソフト事業】 (17,000千円)

- 自転車や公共交通で周遊する魅力施設マップの作成
- 魅力施設を巡るサイクルロゲイニングの開催
- 武庫川の自然を体感するカヌー体験会や清掃イベントの開催
- 武庫川干潟で自然を学ぶ親子環境学習会の開催
- 阪神南ふれあいスポーツフェスタ2026の開催(再掲)
- マリンスポーツの体験会の開催や情報発信(再掲)

【拠点整備事業】

- 周遊時に休憩拠点となる施設への自転車置き場等の整備

【インフラ整備事業】

- 自転車走行環境の整備や武庫川における環境整備(再掲)



	R7	R8	R9	R10	R11
ソフト事業					
拠点整備事業					
インフラ整備事業					



万博のレガシーを活用した地域活性化

大阪・関西万博の開催により高まった観光や地域回遊の需要を、万博終了後も地域経済等に継続的に波及させるための取組を実施する

① 「ちょい飲み手帖阪神特別版」の作成(再掲) 【拡】 (3,504千円)

酒ツーリズムをはじめとするフィールドパビリオンの紹介とあわせ、管内の居酒屋等において、お酒等と一品料理のセットをお得な価格で楽しめるクーポン冊子を作成

【掲載店舗数】 R7:45店舗 → R8:60店舗(予定)



令和7年度ちょい飲み手帖
阪神特別版表紙

② 阪神南地域の魅力を伝える広報媒体の作成・掲示 【新】 (1,526千円)

観光客、子育て世代、移住希望者等をターゲットに、管内のフィールドパビリオンや阪神間モダニズムや訴求力の高いスイーツなど「食」を組み合わせ、阪神南地域の魅力を訴えるデザインのポスター等を作成し、公共施設やイベント会場等で掲示



ヨドコウ迎賓館

③ 阪神南「食」の魅力発信プロジェクト(再掲) 【新】 (4,882千円)

阪神間モダニズムとともに広まったスイーツ等、旅行者にとって訴求力の高い「食」に特化したコンテンツを、ウェブやSNSで発信し、地域への誘客を促進

- ・ スイーツ記事制作 20店舗
- ・ 動画制作 5店舗



ふるさとづくりの推進

行政や学生、地域団体による、地域の課題解決や活性化に向けた取組を支援し、県民主体によるふるさとづくりの拡がりを推進する

① 阪神南ふるさとづくり応援事業（4,150千円）

地域が抱える課題解決や地域活性化に向けて地域団体に取り組む事業を支援することで、県民主体によるふるさとづくりの拡がりを促進

- 対象団体：阪神南地域を活動基盤とする地域団体
- 対象事業：地域活動支援
- 補助金額：地域活動支援上限200千円/団体



② 大学生による地域活性化支援事業（4,080千円）

多くの大学が立地する地域の特徴を活かし、大学生による地域団体や事業者と連携した地域活性化等に資する活動を支援するとともに、交流の場となるフォーラム(阪神つながり交流祭)を開催

- 対象団体：阪神南地域の大学・短期大学のサークル・ゼミ・研究室等の学生グループ
- 対象事業：商店街や自治会、市の観光部署等の地域団体、事業者等との連携による地域活性化に向けた取組
- 補助金額：【一般枠】上限200千円/団体、【はばタン枠】上限300千円/団体

③ 地域づくりイノベーション・つながりラボ事業【新】（1,905千円）

地域づくり活動を行っている団体を対象に、活動改善や新規企画のアイデア創出を支援
優秀なアイデアには連携団体・事業者を公募しマッチングを行い、事業化を支援

- 対象団体：地域づくり活動を実際に行っている団体や、地域づくりに関心のある団体
- 取組内容：ア 基調講演(地域づくりや社会的課題解決の事例紹介、最新トレンド、連携事業の先進事例発表)
イ ワークショップ(既存活動の課題整理や改善案の検討、新規活動のアイデア創出など)
ウ 既存活動の改善や新規活動の支援に向け、連携団体の公募・マッチング

技術の高度化・新分野進出への支援

ものづくり企業が集積する地域の強みを活かし、技術課題の解決や生産性向上、コア技術の高度化等を支援するとともに、新事業展開や成長分野への参入を促し、地域産業の競争力と持続的成長を強化する

① リーディングテクノロジー(LT)企業の支援 (6,010千円)

近畿高エネルギー加工技術研究所(AMPI)と連携して、優れた技術を持つ企業をリーディングテクノロジー(LT)企業として認定し、コア技術の高度化等への助成や、技術指導員による課題分析・助言を展開

- 推進委員会の開催(新規LT企業の認定等)
- 伴走サポート活動
 - ・ LT企業の技術的な課題分析・解決、販路開拓等の相談支援
 - ・ 現場の作業環境の改善による生産性向上につなげる支援【拡】
- 専用ホームページによるものづくり企業情報発信力強化
- ものづくり企業向け技術経営セミナーの開催
- あまがさき産業フェア2026への出展



LT企業シンボルマーク



LT企業専用HP

② 阪神成長分野参入促進事業 (1,667千円)【阪神北県民局との連携事業】

持続可能な地域産業を確立するため、阪神地域のものづくり企業の成長産業分野における情報力・技術力の向上を図るとともに、同分野への参入を推進

※成長産業分野:新エネルギー・環境、航空産業、ロボット、半導体関連等

【参考：R7開催の検討会等】

- ・ 半導体封止金型サプライヤー候補説明会
- ・ 遠隔操作溶接ロボットに関する技術交流会
- ・ ヒューマノイドロボット技術勉強会

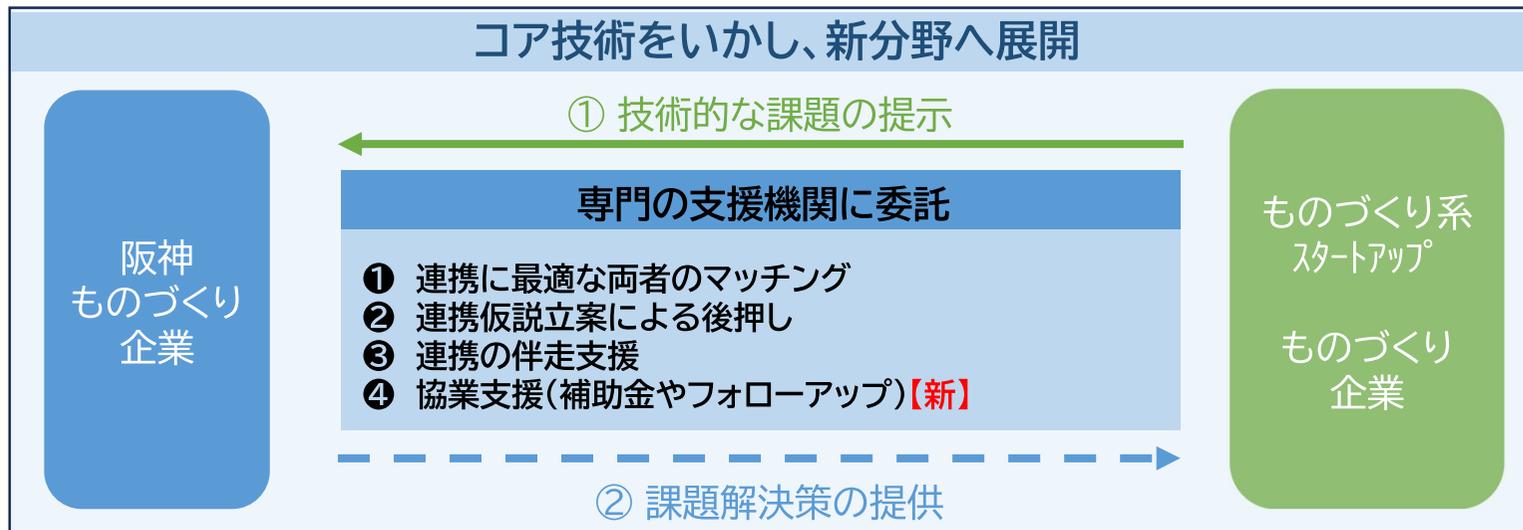


令和7年度 半導体封止金型サプライヤー候補説明会

技術の高度化・新分野進出への支援

③ 阪神ものづくりチャレンジラボ事業（8,096千円）【拡】【阪神北県民局との連携事業】

高い技術力を持つ阪神地域のものづくり企業と、アイデアを持つ全国のスタートアップ・企業とのマッチングを通して、ものづくり企業が新しい事業分野に挑戦する機会を創出



	R7	R8	R9
①② 阪神ものづくり企業のマッチング支援	→	→	→
③ 連携の伴走支援	→	→	→
④ 協業支援※【新】(補助金やフォローアップ)	—	→	→

※協業に必要な研究開発や試作品製作等に要する費用を支援(補助上限1,000千円/企業)



人材の確保・就労等への支援

ものづくり産業の強みを継承するため、企業、経済・経営者団体と連携し、外国人材が活躍できる環境を整えるとともに、将来を担う学生に地元企業の魅力を伝える機会を創出し、人材確保等を促進する

① 阪神南外国人材活躍推進リーダー育成支援事業【新】（1,000千円）

外国人材の定着・育成に係る体制整備を社内で推進するリーダーをワークショップ形式で育成

外国人材活躍推進リーダー育成	
支援対象	管内中小企業製造業
支援内容	講師によるワークショップ形式（6回）
	社内体制整備、労働安全配慮、コミュニケーション、エンゲージメント、キャリアデザイン、外国人採用企業事例紹介、交流会 等



② ものづくり産業を支える次代の担い手創造（1,507千円）

高校生等の若者に地元の中小企業の魅力を紹介する機会や就職に関し、自ら考え、体験・実践できる機会を提供

- 次世代の産業人材育成事業
（小・中学生向けものづくり体験会）
- 若者ものづくり人材確保支援事業
（産業用ロボット見学会、企業見学バスツアー）
- 未来の匠選手権の開催



令和7年度産業用ロボット見学会



令和6年度 企業見学バスツアー

安全・安心なまちづくり (1)

激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、流下能力を向上させる河川改修や、砂防堰堤等の整備による土砂災害対策等を計画的に実施する

① 武庫川流域総合治水対策の推進

「武庫川水系河川整備計画(平成23年度～令和12年度)」及び「阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進計画(令和6年度～令和15年度)」に基づき、総合的な治水対策を推進

<河川対策>：低水護岸工事、河床掘削工事、南武橋架替工事、潮止堰撤去工事

<流域対策>：校庭貯留等整備に向けた協議調整

<減災対策>：出前講座・地元説明会の実施



武庫川(南武橋)

② 津門川地下貯留管の整備 【R8年度完成】

地下貯留管(直径4.9m、延長1.7km、貯留量34,000m³、25mプール56杯相当)を整備し、治水安全度の向上を図る

- 内容：排水ポンプ等の機械・電気設備工事、換気送風機棟工事
- 期間：平成29年度～令和8年度



津門川地下貯留管(貯留管内部)

③ 山地防災・土砂災害対策の推進

「山地防災・土砂災害対策計画」に基づき、砂防堰堤等を整備

- <砂防堰堤> ヤケリ谷川(西宮市)(令和5年度～令和11年度) 外3カ所
- <急傾斜> 宝生ヶ丘(西宮市)(令和8年度～令和12年度) **【新】** 外6カ所

安全・安心なまちづくり (2)

台風による高潮や近い将来発生が懸念される南海トラフ地震による津波に備えるため、優先度の高い箇所から対策・改修を計画的に実施する *津波対策は令和5年度までに完了

④ 高潮対策の推進

平成30年台風第21号で発生した想定を超える高波による浸水被害等を教訓に策定した、兵庫県高潮対策10箇年計画に基づき対策を推進

- 内容： 芦屋浜地区 防潮堤嵩上げ 延長： 1,294m
- 期間： 令和7年度～令和11年度



防潮堤嵩上げ(芦屋浜地区)

⑤ 新川・東川統合排水機場の整備

老朽化した2つの排水機場を1つに統合して、排水能力を60m³/sから111m³/sと約2倍に増強し、高潮発生時の降雨による浸水被害を解消

- 内容： 排水機場1基、防潮堤150m
- 期間： 令和4年度～令和15年度



新・新川水門、新川・東川統合排水機場

⑥ 水害から街を守る尼ロックの認知度向上 (1,560千円)

高潮等から尼崎市のゼロメートル地帯を守っている尼ロックや防潮施設を広く県民にPRし、防災意識の向上を促進

- ・ 尼ロック防災フェスティバルの開催 (6月頃)
- ・ 尼ロック防災展示室の特別公開 (7～8月の土日祝)



尼崎閘門(尼ロック)

安全・安心なまちづくり(3)

既存施設の健全性及び機能を確保するため、老朽化対策を計画的に実施する

⑦ 老朽化対策の実施(ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画)

「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画（令和6～15年度）」に基づき、橋梁、排水機場、下水道施設等の主要27施設について、計画的・効率的に老朽化対策を推進

- <橋梁> 県道東灘芦屋線東灘芦屋大橋(芦屋市) 伸縮装置補修工事 等
- <排水機場> 松島排水機場(尼崎市) 原動機長寿命化工事 等
- <下水道> 武庫川下流浄化センター(尼崎市) 雨水ポンプ長寿命化工事 等
- <水門> 尼崎閘門(尼崎市) 水密ゴム及び水密ゴム押え板交換工事 等
- <公園> 甲山森林公園(西宮市) 木製デッキ改修工事 等
- <砂防> 芦屋川砂防堰堤(芦屋市) 施設補修工事 等



水密ゴム交換、排泥配管更新等
(尼崎第1閘門(尼ロック))

⑧ 焼却炉更新を契機とした下水汚泥エネルギー利用の推進

古くなった焼却炉の更新と合わせて、消化施設や固形燃料化施設など、下水汚泥エネルギーの有効活用に向けた整備を推進

- 内容： 兵庫東流域下水汚泥広域処理場(尼崎市)
固形燃料化設備設置工事・脱水機更新工事・濃縮機更新工事
- 期間： 令和2年度～令和9年度



新炉完成イメージ

利便性の高い快適なまちづくり

渋滞解消による交通円滑化や都市の防災機能向上を図るための街路網整備、安全・安心で快適な通行空間を確保するための、歩道整備等を計画的に実施する

① 都市計画道路 尼崎宝塚線(阪急立体工区)の整備

路線内に唯一2車線が残り、ボトルネックとなっている区間(610m)を4車線化

- 内容: 仮橋整備工事 等
- 期間: 平成28年度～令和15年度

② 都市計画道路 尼崎伊丹線(阪神尼崎北工区)の整備

駅周辺で慢性的に渋滞が生じている区間(388m)を4車線化

- 内容: 道路改良工事(阪神電車交差部)、歩道橋工事、用地補償 等
- 期間: 平成30年度～令和12年度

③ 歩道整備

自動車交通量が多い通学路区間にて整備を推進

- 内容: 大沢西宮線(甕岩町)(西宮市) 歩道拡幅工事 **【R8年度完成】**
- 期間: 令和6年度～令和8年度

④ 自転車道等整備

各市の自転車ネットワーク計画に基づき整備を推進

- 内容: 県道大阪伊丹線(尼崎市) 自転車道整備工事
- 期間: 令和2年度～令和9年度 外3カ所

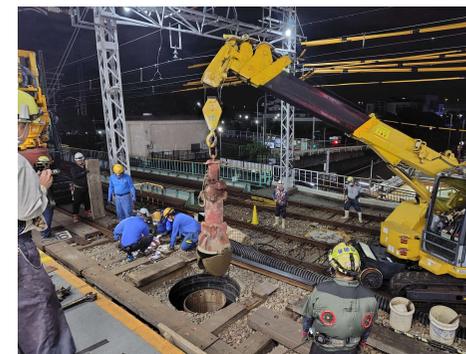
⑤ 電線共同溝整備

防災機能の強化、良好な景観形成のため無電柱化推進計画に基づき整備を推進

- 内容: 県道芦屋停車場線(芦屋市) 支障埋設物移設
- 期間: 令和元年度～令和10年度 外1カ所



尼崎宝塚線(阪急立体工区)
北東側 施工状況



尼崎伊丹線(阪神尼崎北工区)
阪神電鉄委託現況(杭掘削)

【自転車通行空間整備例】



自転車道(県道尼崎停車場線)

環境にやさしいまちづくり

尼崎21世紀の森の利活用や地域の環境をさらに良くするための取組を推進し、快適で環境にやさしいまちづくりを展開する

① 21世紀の森づくり推進事業（3,560千円）

- 森づくりに資する活動への支援
 - ・尼崎21世紀の森づくりを啓発する市民団体等への活動支援
- 次世代に向けた「尼崎21世紀の森構想」の新たな展開
 - ・企業や市民団体、大学が中心となり、「環境学習フェア」の開催
 - ・森と運河の栄養循環を学ぶワークショップの開催【拡】

② 森づくり20周年記念イベント(2,970千円)【新】

- ・植樹20周年を迎える尼崎の森中央緑地にて、森の観察やSDGs活動を体験できる多世代交流イベント、海から森を眺め、運河を巡るクルーズなどを開催
- ・植樹20周年を記念して、100年の森づくり冊子等を作成

③ 尼崎21世紀の森SDGs推進事業（1,930千円）

- ・大学や地域団体と連携し、尼崎港水質浄化プロジェクトを実施

④ 公共交通の利用促進と土木インフラのPR（900千円）

公共交通事業者と連携して、土木インフラを巡るウォーキングを開催



尼崎21世紀の森中央緑地(全体像)



尼崎21世紀の森中央緑地
(大芝生広場のイベント)



栄養循環ワークショップ

くらしの安全・安心対策

医療・介護・福祉などの関係機関と行政の連携体制構築などにより、地域の安全で安心な医療体制の確保を推進する

① 地域包括ケアシステム推進支援事業（250千円）

疾病の急性期から回復期、維持期へのスムーズな移行、さらに維持期における、医療と介護の連携による地域包括ケアシステムの充実をめざし、関係機関の連携体制整備を支援

- 多職種連携フォーラムの開催

医療・介護・福祉等の分野で活動する人の更なるネットワークづくりに繋げるため、多職種連携フォーラムを開催

- 西宮市・芦屋市退院調整ルールの点検協議

要介護者の入退院時等における病院・介護の連携等について定めた退院調整ルールの点検協議を実施

② 阪神南部小児救急二次輪番体制の維持（250千円）

夜間や休日に入院治療が必要な子どもが適切な医療を受けられるように、阪神南部の複数の医療機関が交代で救急医療を提供する体制を維持

- 阪神南部小児救急二次輪番検討会議の開催

構成員：二次輪番病院の小児科医師、芦屋健康福祉事務所
協議事項：小児救急二次輪番体制の検討 等



多職種連携フォーラムでのグループワーク



兵庫県

阪神南県民センター

令和8年2月